ホテル旅館業界紙
週刊 観光経済新聞　平成25年3月16日号

ボイラーの燃費が向上

エコマックス 添加剤入れるだけ

松本日光舎が全国販売 経費削減に効果

全国的に燃料の高騰や電気料金の値上げの問題が指摘される中で、石川県でクリーニング業などを展開する松本日光舎（松本健夫社長）は、ボイラー燃料の削減策として、燃料添加剤「エコマックス」を提案している。適量のエコマックスを重油タンクに添加するだけで大幅な燃費の向上が図れるうえ、二酸化炭素（CO_2）の削減にもつながると、旅館・ホテルに採用を呼びかけている。

石油系燃料は従来、時間が経つと酸化して分子の結合レベルが大きくなり、燃焼効率が低下するとされる。エコマックスを添加すれば、燃料内の炭化水素の分子は細分化され、かつ、再結合を防ぐ効果がある。「表面積が増えた状態。いわゆる精製直後に近い状態にして燃えやすくする」と松本社長。原料は100％石油のため、機械の損傷もない。

エコマックスは、群馬県に本社を構えるビーイングが、自動車の燃費向上の用途に開発したもの。ガソリンのほか、軽油や灯油、重油にも高い効果を発揮することから、ボイラーを使う旅館・ホテル、温浴施設などを対象に業務用商品として製品化した。燃費向上の効果は早稲田環境研究所で、排ガス削減の効果は信濃公害研究所による試験で実証済みという。旅館・ホテルでは、約50軒の導入実績がある。

松本日光舎でも、自社工場のボイラー燃料にエコマックス重油用を採用。通常4キロリットルの地下タンクへの給油時（月約3～4回）にエコマックス2リットルを添加。添加を始めた昨年9月の1時間当たりの重油使用量は76・2リットルで、前年同月の84・9リットルから10％減少する結果になった。

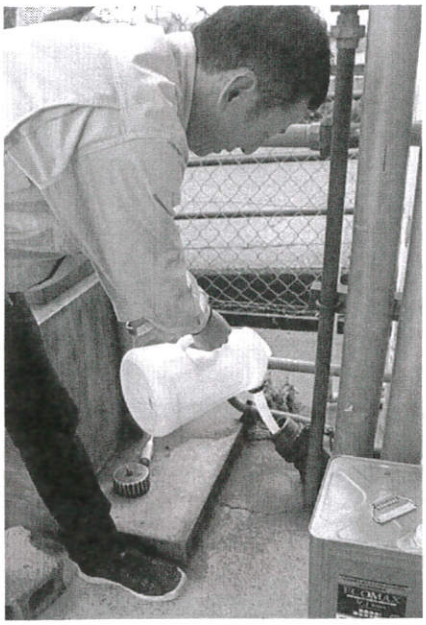
さらに10月は前年の86・0リットルから70・0リットルへと18・5％もの大幅削減となり、ボイラーでの燃費向上と燃料削減効果を実証してみせた。3カ月目の11月は6％の減少に留まり、削減率は低下したが、「11月は前年よりかなり忙しく、ボイラーの稼働率が高かったことが要因」と松本社長は分析している。

同社では、重油に年間約1200万円の経費がかかっている。ここからエコマックスのコストメリットを試算してみた。年間約30万円の添加剤経費を差し引いても、重油の10％削減で116万円、15％削減なら190万円、20％削減では264万円のコストが削減できることになる。

「多業種の事例でも15～20％の削減実績があり、当社の経過を見ても15％削減は十分に見込める」と松本社長。達成すれば、約200万円の利益アップになる。設備投資もなく、エネルギーコストを低減させるメリットは大きい。

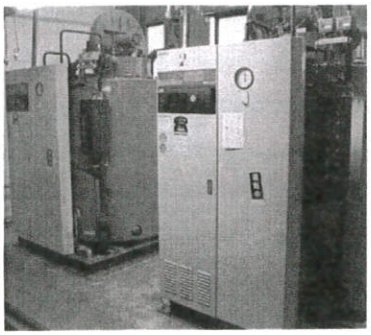
松本社長は「エネルギーコストは今後さらに上昇する可能性が高く、旅館・ホテルも省エネ対策を進めないとコストアップは避けられない。エコマックスは当社で実際にテストを行い、しかも既存設備のままで効果が出ているので、宿泊施設の皆さまにもきっと喜んでもらえるはず」と話している。

▽エコマックスの問い合わせは、全国販売を手がける松本日光舎、石川県金沢市横川7―2、TEL076（241）6155まで。



重油タンクに適量のエコマックスを添加するだけ

金沢市の松本日光舎本社



松本日光舎のボイラー